

## 結果の要約

### 1 職業

熊本県の15歳以上就業者数(873,871人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が227,232人(15歳以上就業者数の26.0%)と最も多く、次いで「事務従事者」が145,173人(同16.6%)、「専門的・技術的職業従事者」が121,266人(同13.9%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が10,619人(12.8%)増、「保安職業従事者」が674人(4.5%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が3,504人(15.5%)減、「運輸・通信従事者」が3,004人(9.5%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.7%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が29.3%、「販売・サービス関係職業」が25.7%、「農林漁業関係職業」が11.2%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ0.9ポイント、0.6ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業者」

### 2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.5時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.3時間、「販売従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が1.0時間増となっている。一方、「販売従事者」及び「サービス職業従事者」が1.7時間減などとなっている。

### 3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が217,094組(夫婦数447,288組の48.5%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が109,312組(同24.4%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が31,455組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の14.5%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が21,078組(同9.7%)などとなっている。

### 4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は184,623世帯(住宅に住む一般世帯656,146世帯の28.1%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は471,523世帯(同71.9%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が178,102世帯(同27.1%)、「女性のみ」の世帯が76,333世帯(同11.6%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が35,371世帯(同5.4%)となっている。

図1 熊本県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

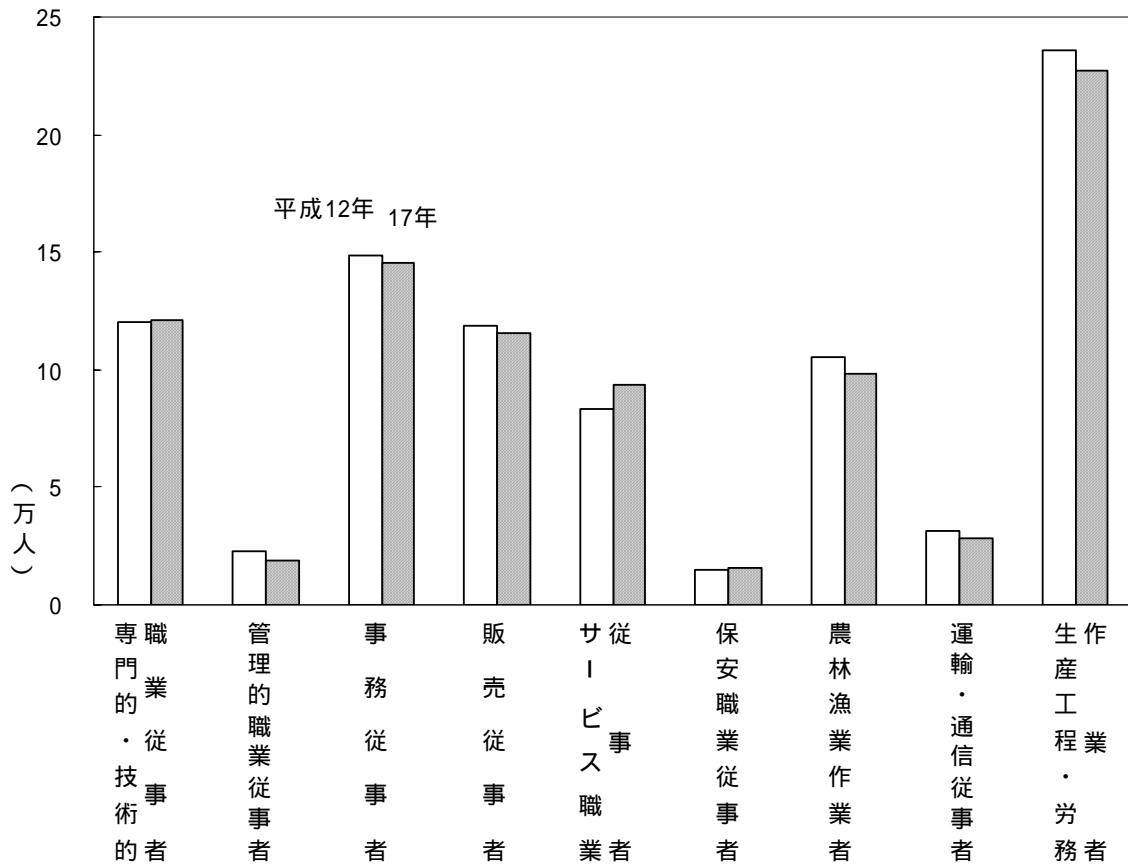


図2 熊本県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

